

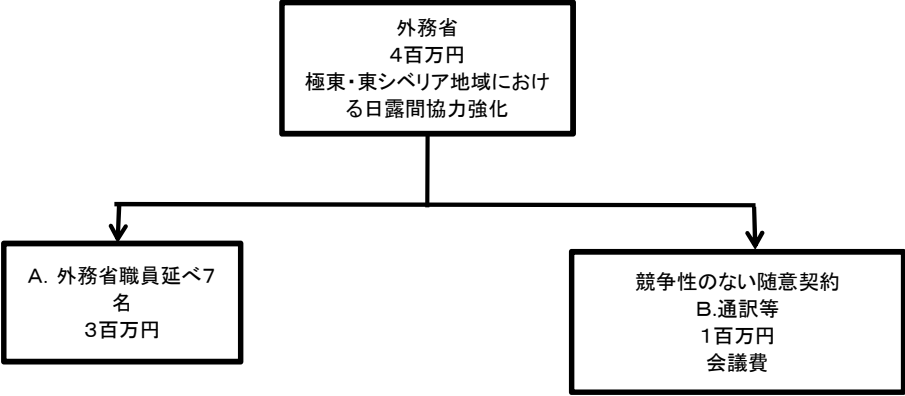
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ推進経費	担当部局庁	欧州局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度開始	担当課室	日露経済室	室長 笠井 達彦				
会計区分	一般会計	施策名	I-4 欧州地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一号	関係する計画、通知等	極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ(平成19年6月)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2007年6月のハイリゲンダムサミットの際の日露首脳会談において日本側より提案し、プーチン大統領(当時)の支持を得て、その後も首脳レベルを含め日露間でフォローアップされている「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」(エネルギー、運輸、情報通信、環境ほか)の実現を目指す。右実現を通じて日露間の幅広い分野の交流を拡大する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1 日露間の経済関係を中心とした地域間交流を推進するため、貿易経済政府間委員会地域間交流分科会(次官級)及び関連会合を開催する。 2 我が国民間企業がロシア・欧州への貨物輸送に際してシベリア鉄道を活用しやすい環境整備を推進するため、運輸協力に関する政府間作業グループの会議及び関連会合を開催する。 3 ハバロフスクにおける極東国際経済フォーラム、ウラジオストクにおける太平洋経済会議など、極東・東シベリア地域における重要な国際会議に出席する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	6	4	4	3	
		繰越し等	-	-	-			
		計	-	6	4			
		執行額	0.8	2	4			
		執行率(%)	-	43%	82%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	各事業の内容は多様であり、一概に成果目標及び実績を数値化することは困難であるが、極東・東シベリア地域における日露間協力の重要な分野の1つであるエネルギー分野の協力の参考として、極東・シベリア地域からの石油輸入量及びLNG輸入量を記載。		成果実績	原油(kl) LNG(Kl)	5,425,376 0	6,498,865 2,822,040	11,917,262 6,973,753	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	会議・会合の開催回数・場所 ・東京 3回 ・モスクワ 3回 ・ウラジオストク 1回 ・イルクーツク 1回		活動実績 (当初見込み)	回	3	9	8 (6)	— (6)
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	各事業の内容は多様であり、また、開催場所も異なることから定量的に示せないため記載できない。				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	2,040	2,015					
	会議開催費	1,462	1,454					
	計	3,502	3,469					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	出張の際の航空賃は、引き続き、割引航空券等の使用に努める。また、引き続き出張期間、出張者数を必要最小限にとどめ、複数案件を一度の出張の機会に行うなどして経費節約に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直し等による減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
ロシア政府は、極東・東シベリア地域の発展を通じたアジア太平洋地域との関係強化を優先課題の一つとしており、本件事業により極東・東シベリア地域における協力の推進を図ることは、我が国の対露外交上極めて重要である。			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.外務省職員			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	その他	外国旅費	3			
	計		3	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員 A	会議等出席旅費	0.7		
2	職員 B	会議等出席旅費	0.4		
3	職員 C	会議等出席旅費	0.4		
4	職員 D	会議等出席旅費	0.3		
5	職員 E	会議等出席旅費	0.3		
6	職員 B	会議等出席旅費	0.3		
7	職員 F	会議等出席旅費	0.3		
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額	入札者数	落札率
1	ホテルモントレ(株)	会議室借料, 機器設置, 飲み物等	0.3	少額随意契約	
2	(株)サイマル・テクニカル コミュニケーションズ	通訳ブース設置	0.2	少額随意契約	
3	(株)レストランFEU	会食	0.1	少額随意契約	
4	(有)ミニ・メディア	会議通訳	0.1	少額随意契約	
5	個人 A	会議通訳	0.1	少額随意契約	
6	(有)ドヴォルジャーク・エ ンタープライズ	会議通訳	0.1	少額随意契約	
7	個人 B	会議通訳	0.1	少額随意契約	
8	株式会社うかい	会食	0.1	少額随意契約	
9					
10					